

国際記憶円卓会議

I R O M
INTERNATIONAL ROUND TABLE ON MEMORY

日時: 2018年10月13日(土)14:00-17:40

会場: 松本大学3号館3階331教室

記憶の国際研究: 非英語圏イニシアティブ

発表者はすべて非英語圏の研究者ですが、発表は英語で行われます。

英語は科学における国際共通語なのです。

通訳はつきませんが、国際学会の雰囲気だけでも味わっていただきます。

14:00-17:40 シンポジウム

司会 松本大学 守 一雄

14:10-14:30

愛知大学 井藤寛志

腕の継時的動作の自動再現における記憶の役割

14:35-14:55

大阪大学 綿村英一郎

そのとき何を想うのか? - 裁く心にはたらく人の心理

15:00-15:20

日本大学 福島由衣

識別後のフィードバックが

目撃者の記憶とその行動に与える影響の検討

15:25-15:45

ポルトガル ミンホ大学 Karlos Luna

自伝的記憶に及ぼす意図的想起の影響

15:50-16:10

コロンビア ロザリオ大学 Sara Cadavid

記憶の間違いの生じる諸要因の解明

16:15-16:35

マレーシア ノッティンガム大学 Steve Janssen

研究の可視化: 記憶研究の再現性問題への解決策

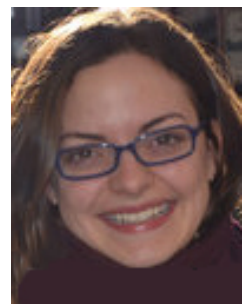
16:40-17:00

ニュージーランド ワイカト大学 Maryanne Garry

指定討論者

17:00-17:30 全体討論

(発表者と発表演題は変更になる可能性があります。)



Dr. K. Luna



Dr. S. Janssen

本研究集会の開催にあたって、平成30年度・私学事業団・特別補助「大学間連携等による共同研究」(松本大学・ノッティンガム大学)の研究助成を受けました。ここに記して感謝の意を表します。